

第2学年 体育科学習指導案

1 単元名 「キックベースボール」 (7時間計画)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

2つのチームが攻撃と防御を交互に交替し合い、ボールを蹴ったり捕ったりして、得点を競い合う集団スポーツである。攻撃はボールを思い切り蹴って進塁し、守備はボールを捕って進塁を阻止する攻防に楽しさがある運動である。

(2) 子どもから見た特性

A. 運動の特性にふれる楽しさ体験の状況

子どもは1年生の時に、的当てゲーム(投)、ドッジボール、線破りゲーム(蹴)のボールゲームにおいて、集団で得点を競い合う楽しさを経験してきた。しかし、ベースボール型のボールゲームは初めての経験であり、野球のルールを知っている子どもは8名と少ない。また、野球をして遊んだことがある子どもも12名(男子のみ)と約半数であった。

本単元に入るに当たってのアンケート調査では「ボールゲームが好きですか」の問いに、大半の子どもが好きと答えた。その理由は、一番に「蹴ったり、投げたりするのが楽しい」を挙げ、勝敗を競う楽しさよりも、ボールを操作する楽しさに目が向いている子どもが多いようである。

B. 技術の習得状況

ベースボール型のボールゲームは初めての経験であるが、1年生の時の学習においてボールを投げる、蹴る、捕るという動作は経験している。2年生になって休み時間にドッジボールをして遊ぶことが増え、ボールを投げる、捕ることは半数近くの子どものできている。しかし、蹴ることが得意という子どもは約3分の1であり、思い通りに蹴ることができない子どもが多い。

C. 学び方に関する学習経験の状況

○ 学習の進め方

2年生初めの鉄棒遊びでは、グループで協力してマットの準備や活動、自己評価、片付けという1時間の学習をだいたい進めることができた。しかし、低い鉄棒を取り合ったり、進んで活動に入れないという子どもがいたりしたので、場のローテーションを自分たちで決めることや活動するのに躊躇する子どもに声をかけ合うことなどを話し合う場をもつようにした。

○ めあて

「友達と揃えて回りたい」「逆上がりがしたい」という願いをもって学習に臨むことはできているが、今日のめあてを1時間継続して学習に取り組むことは、まだ困難な状況である。

○ 場やルールの工夫

鉄棒遊びでは、友達が楽しく活動している場やルールをまねして取り組む子どもの姿がよく見られ、鉄棒にぶら下がって跳び、線を越えたら何点など、ゲーム性のあるものを取り入れようとする子どもも多かった。場やルールの工夫は、遊びが楽しくなるようにというためであり、技術を高めるようにという意識はまだないように思われる。

○ 友達とのかかわり

友達と協力して準備や後片付けをしたり、話し合って遊びのルールを考えたり、練習を手助けしたりする姿が見られるようになってきた。友達と助け合って学習する態度は身につけている子どもが多いが、発言力のある子どもの意見が優先されることもあった。

3 学習を進めるにあたって

キックベースボールは、運動量が多くないベースボール型であるが、ボールを蹴る、走る、ボールを捕るという動作を誰にも邪魔されないという特性がある。一つ一つのプレーに集中し、思い切り体を動かす楽しさを本単元においても味わわせたい。そのために、学習過程の工夫として、単元の初めと各単位時間の初めにボールを蹴る、捕る動作を身につけるための慣れ遊びを取り入れる。そして、思い切りボールを蹴って得点する、ボールを捕って得点を阻止する楽しさを味わわせるために、今もっている力で楽しむめあて1の時間を十分に確保する。

支援としては、場づくりやルールづくりを中心に考えるが、キックベースボールの仕方がわからなかったり自信がなかったりする子どもが多いので、誰もがができるようなものにする。具体的には以下の7点である。

- ① ボールを思い切り蹴って走ることができるように、技術の高まりに合わせて塁間を調節する。
- ② ボールは当たっても痛くないソフトなものを使用する。
- ③ 置いたボールを蹴る。
- ④ 得点は1塁から帰ってきたら1点、1～3塁から帰ってきたら3点とする。
- ⑤ 1イニング全員攻撃とする。
- ⑥ ボールを捕った人をみんなで囲んで「アウト」と声をかける。
- ⑦ ホームインしたらみんなで「セーフ」と声をかける。

また、思い切りボールを蹴って走り、ボールを捕る楽しさを味わうためには、基本的な操作が重要になるので、ボールの蹴り方、捕り方が上手になるように積極的に教師側から技術指導を施していく。

毎時間の終わりに「運動量」「技能の伸張」「関わり」「新しい発見（気づき）」の4観点で簡単に学習をふり返ることができる学習ノートを用意し、自己評価させることによって次時の学習への意欲付けを行う。この学習ノートによって、教師も子どもが楽しさを感じることができているか随時把握し、次時の学習において支援をよりの確に行っていく。

4 学習のねらいとみちすじ

(1) 学習のねらい

ボールを蹴る、捕るといった技術を身に付け、思い切り体を動かしてキックベースボールを楽しませる。

(2) 学習のみちすじ

めあて1 キックベースボールの仕方を覚えよう。

めあて2 思い切りボールを蹴って、たくさん点数を入れよう。

5 学習の計画

時間	1	2	3	④	5	6	7																																						
10	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>○ 学習のねらいと進め方を知る。</p> <p>○ チーム編制をする。</p> <p>6チーム 1チーム4～5人</p> <p>○ ルールを知る。</p>	<p>1 慣れ遊びをする。</p> <p>○ ボールを蹴る ○ボールを捕る</p> <p>2 学習の準備とめあての確認をする。</p> <p>○ 協力して場づくりをする。 ○めあてと対戦相手の確認をする。</p>																																											
		<p>めあて1</p> <p>キックベースボールの仕方を覚えよう。</p>			<p>めあて2</p> <p>思い切りボールを蹴って、たくさん点数を入れよう。</p>																																								
20	<p>・ 三角ベース、塁間 10m, 置いたボールを蹴る。</p> <p>・ 1 塁から帰ってきたら 1点, 1～3 塁から帰ってきたら 3点</p> <p>・ 全員が蹴ったら攻守交替(2イニング)</p> <p>・ 走者が戻ってくる前に, ボールを捕った人を囲んで座り「アウト」と声をかけたらアウト</p> <p>・ フライを捕ったらアウト</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第2時</th> <th>第3時</th> <th>第4時</th> <th colspan="2">第5時</th> <th colspan="2">第6時</th> <th colspan="2">第7時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1コート</td> <td>赤-青</td> <td>青-緑</td> <td>橙-白</td> <td rowspan="3">作戦タイム 練習</td> <td>赤-緑</td> <td>赤-白</td> <td>青-橙</td> <td>青-緑</td> <td>橙-白</td> </tr> <tr> <td>2コート</td> <td>橙-黄</td> <td>白-黄</td> <td>青-黄</td> <td>白-青</td> <td>黄-青</td> <td>赤-黄</td> <td>赤-橙</td> <td>黄-緑</td> </tr> <tr> <td>3コート</td> <td>白-緑</td> <td>赤-橙</td> <td>赤-緑</td> <td>黄-橙</td> <td>緑-橙</td> <td>白-緑</td> <td>白-黄</td> <td>青-赤</td> </tr> </tbody> </table> <p>○第2時～第4時までは同じチームと2回戦</p> <p>○第5時～第7時までは総当たり戦</p> <p>○第5時の前半はチームの作戦タイムと練習</p>							第2時	第3時	第4時	第5時		第6時		第7時		1コート	赤-青	青-緑	橙-白	作戦タイム 練習	赤-緑	赤-白	青-橙	青-緑	橙-白	2コート	橙-黄	白-黄	青-黄	白-青	黄-青	赤-黄	赤-橙	黄-緑	3コート	白-緑	赤-橙	赤-緑	黄-橙	緑-橙	白-緑	白-黄	青-赤
	第2時	第3時	第4時	第5時		第6時		第7時																																					
1コート	赤-青	青-緑	橙-白	作戦タイム 練習	赤-緑	赤-白	青-橙	青-緑	橙-白																																				
2コート	橙-黄	白-黄	青-黄		白-青	黄-青	赤-黄	赤-橙	黄-緑																																				
3コート	白-緑	赤-橙	赤-緑		黄-橙	緑-橙	白-緑	白-黄	青-赤																																				
40	<p>2 慣れ遊びをする。</p> <p>○ ボールを蹴る</p> <p>○ ボールを捕る</p> <p>3 学習のまとめと片付けをする。</p> <p>○ 学習をふり返る。</p> <p>○ 協力して片付ける。</p>	<p>3 ゲームを行う。</p> <p>○ 支援の言葉かけ(例)</p> <p>「3塁まで行けるよ」</p> <p>「みんなでアウトって言うんだよ」</p> <p>「相手に聞こえるように大きな声で言おうね」</p> <p>「みんな蹴ったら交替だよ」</p> <p>「強く蹴ってごらん」</p> <p>「大きく足を振って蹴るんだよ」</p> <p>「ボールをよく見て蹴るといいよ」</p> <p>「ボールを逃がさないように動こうね」</p> <p>4 学習のまとめと片付けをする。</p> <p>○ 学習をふり返る。</p> <p>○ 協力して片付ける。</p>																																											

6 本時

平成18年6月

7 本時のねらい

- ボールを捕った人を素早く囲み、みんなで「アウト」と大きな声をかけることができるようにする。
- ボールを蹴ったら、塁を回って素早く本塁に帰ってくるができるようにする。
- わからないことを教え合いながら、ゲームを楽しむことができるようにする。

8 本時指導にあたって

子どもは第1時に学習の見通しをもち、第2時の前時にゲームを経験している。しかし、初めてキックベースボールを経験するから、ルールに不慣れで思うように楽しめていない子ども、ゲームの進め方で口論となり楽しめていない子どもが多かった。また、普段からベースボール型のゲームに親しんでいるが、いつもと勝手が違うということから戸惑いを見せている子どももいた。さらに、ゲームの進め方が要領を得ず、2イニングを消化するのにかなりの時間を要し、時間オーバーとなっていた。

そこで本時では、次の支援を行うことによって子どもがゲームの楽しさを十分に味わうことができるようにしていく。

- ① めあて1「キックベースボールの仕方を覚えよう。」とルールを今一度確認し、ゲームの進め方で口論せず譲り合い、お互いがルールを守って楽しくゲームを進めていくように働きかける。
- ② ベースランニングの際、ベースのケンステップがずれるため、塁間の距離が変わってしまっていたのでベースをカラーコーンにしたが、手でタッチするかカラーコーンを回るかでもめていたので、どちらかに統一する。
- ③ フェールゾーンが不明瞭であったので、前時からラインを引くことにし、フェールゾーンがはっきりわかるようになったことを再度確認する。

また、特にルールがよく理解できていない子どもに対しては、次の2点を中心に支援の言葉かけを行う。

- ボールを捕った人を素早く囲み、みんなで「アウト」と大きな声をかける。
- ボールを蹴ったら、塁を回って素早く本塁に帰ってくる。

9 準備

ソフトなボール カラーコーン ケンステップ 得点板 ゼッケン 個人用学習ノート
学習の進め方を書いた掲示板

キックベースボール

2年 組

月 日

○ きょうのかおはどれかな？

おもいきりできましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
じょうずになりましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
なかよくできましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あたらしいきづきがありましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

○ しあいけっか

じぶん	あいて()

○ 思ったこと
